



ふじやまの夏の風物詩 わんこソーメン流し

～今年から申し込み方法が変わりました～

ムシムシ、ジメジメなど何かと陰気なイメージがある梅雨の季節になりましたが、そんなうっとおしさを吹き飛ばしてくれるのが、ふじやま公園の夏を彩る「わんこソーメン流し」。今年は7月8日(日)に開催されます。

美味しさ、楽しさは例年通りですが、今年変わったのは申し込み方法です。「朝受付してから、食べるまでの待ち時間が長すぎる。」という意見が多く寄せられたため、受付を事前申し込み方法へと変更しました。

ふじやまの竹を割って作った樋を流れてくる今年のわんこソーメン流しは、待ち時間が少なくなり、楽しい紙芝居も登場するなど、満足度アップは間違いなし!! でしょう。



<わんこソーメン流し>

日 時：7月8日(日) 10時30分～12時 雨天中止

参加費：200円(当日支払ってください。) 定員150名

申し込み：往復はがきで。返信で食べる時間帯をお知らせします。



また、古民家縁側には、7月3日(火)～8日(日)の間、七夕の竹や短冊を用意します。ふじやま公園に来て、家族の健康、恋愛や結婚、将来の夢などを短冊に託してみてもどうでしょうか。

短冊に込めた願いが叶うよう一生懸命頑張るみんなの姿を、きっと織姫様は温かく見守ってくれることでしょう。



農家だから古武士という表現はおかしいのかもしれないが、古武士のようなたたずまいの古民家主屋が間もなく一時視界から消える。9月から茅葺き屋根の修復にかかるので、養生の足場がぐるりと組まれ、内部への立ち入りが禁止されるのだ。当然秋の風物詩と親しまれているお月見や能舞能管コンサートは実施できない。予定は3か月ということだが、工事というのは延長がつきもの?なので、ひょっとしたら正月飾りや七草がゆまで…。しばらく見られないのだから、今のうちにじっくり眺めておこう。



◆ 小岩井家文書が朝日新聞の記事に

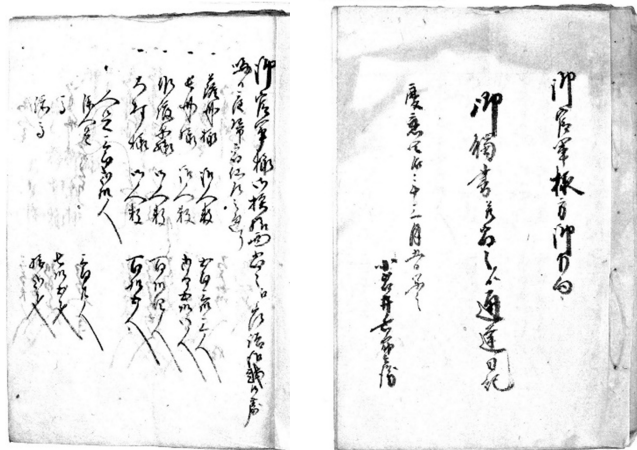
朝日新聞横浜版企画特集「神奈川の記憶」第106回の記事の中で小岩井家文書が紹介されました。横浜市歴史博物館の小林紀子学芸員は戊辰戦争時に当地域の人々がどう関わり、どう見ていたかを調べています。その一部が記事になったものです。

“新政府軍は慶應4年3月、相模国の東海道を江戸を目指して下向してきました。総督府から各宿場に宿泊場所、食事、駕籠や馬及び人

足(15から50歳の男)を差出す準備するよう指示がありました。兵員数は5千人以上でかつ弾薬長持55棹もあり、宿場や助郷に加えて近隣の村々の人たちは大変な負担でした。”

これらの生々しい状況が小岩井家文書の一つである『御官軍様方御下向 御触書并宿々より通達日記 慶應四年三月五日』20頁余に詳細に記されています。

※この文書は平成22年の第9回古文書講座で全文が紹介されています。講座の資料の残りが少々あります。ご希望の方に300円で頒布します。



◆ ウメが大豊作、すぐ漬け込みました

ウメから始まってサクラ、タケノコ…と何でも例年より1週間から10日は早かっただけに、ウメの実の収穫も昨年より半月早い5月31日にボランティアが集合して行いました。肥料をやったり、適切な剪定をしたりしたことなどが功を奏して200キロ近くを取ったところで撤収。一晩水につけて翌日に漬け込みました。梅雨明けに3日間干して、梅干しの初お目見えは七草がゆの付け合わせになりそうです。



古民家 Q&A アジサイの花の色

Q: アジサイの花の色は多彩ですが原因は?

A: 花の色はアジサイが生えている土壌の性質で決まります。ところで、花のように見える部分は装飾花と呼ばれるガク片のことで本来の花は小さく目立ちません、念のため。

花(ガク)の色はアントシアニンという色素によるもので、これに補助色素(助色素)とアルミニウムのイオンが加わると、青色の花となります。土壌中のアルミニウムは土壌の酸性度(pH値)により存在形態が変わります。すなわち酸性の場合は吸収されやすいイオンになりやすく、酸性土壌に育ったアジサイの花は青色になります。アルカリ性の場合、アルミニウムはイオンにならず、花の色はピンク色になります。日本は火山が多く土壌は酸性の場合が多く、アジサイの花は青色になる傾向にあります。



アジサイは日本原産であり、語源は「藍色が集まったもの」を意味する「あづさい(集真藍)」がなまったものとする説があり、かつては青色系が優勢であったことがうかがえます



アマチャ (甘茶)



日本原産のヤマアジサイが突然変異した変種と言われ、葉の甘みが強い。葉を煎じて、糖尿病患者の甘味代用として使うほか、利尿、口臭除去などの薬効があるとされている。

毎年 4 月 8 日に行われる釈迦の生誕を祝う「花祭り」では、水盤の中に置かれた仏像に甘茶を注いで参拝するのが慣わしとなっている。

ふじやま公園では、長屋門前の堀から農園へと続く階段の下に植えられ、5月から6月にかけて清楚でさわやかな花をつけた姿を見ることができる。

《フジの植樹式 ～来年は花も咲きそうです～》

平成 30 年度のふじやま公園運営委員会が開かれた 5 月 24 日、委員会の保坂順彌会長、栄区の小山内いづ美区長らが参加して、フジ棚で植樹式が行われました。その後順調に枝を伸ばしており、来年は花が咲きそうな勢いです。また長屋門真向かいの石垣上にはドウダンツツジ十数本が植えられ、こちらは秋の紅葉から楽しめそうです。



『いろいろ辺雑記』 から (原文のまま)

◆ 自然が多くてすずしかったです。流しそうめんぜったいきます！

おもちつきも来ます (たぶん) ☆また来ます☆ (市内 10 代 仲間と)



平成 30 年 7 月度ボランティア活動予定

部 会・事 項	日 程	部 会・事 項	日 程
事務局会議	6 日(金)	古民家歴史部会 部会	7 日(土)
農芸部会 部会	12 日(木)	古文書解読勉強会	1 日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	4 日(水)
里山部会 作業	14 日(土) 21 日(土)	クリーンアップ	3 日(火) 17 日(火)
	29 日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	27 日(金)	ふじやまだより編集会議	10 日(火)
子ども工作準備	適時	印刷	12 日(木)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	29 日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	7月15日(日) 10時～11時	押し花パンダカレンダー (小学生)	無料	当日受付 10名
パステル シャインアート	7月30日(月) 14時～ 15時30分	夏休み子ども講座 海を描こう	500円	7月25日(水) 10名
初心者茶道 体験教室	8月18日(土) 13時～16時	四季を感じながらおもてなしの 心を学びましょう、小学生以上 (持参: 白いソックス)	500円	7月31日(火) 5名

(1) 応募要領: 往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品: 返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ いろいろ端むかし話の会

語るもよし聞くもよし、むかし話を楽しみましょう

日 時: 7月19日(木) 10時30分～11時30分

場 所: 古民家主屋いろいろ端 定 員: 15名 当日参加自由 無料



★ 落語や太神楽を楽しめる「にぎわい座出前寄席」

日 時: 7月15日(午後1時30分開演) 場 所: 古民家主屋

出 演: 落語の春風亭正太郎と水戸大神楽曲芸の柳貴家雪之介ほか

入場料: 1000円、残席が少しあります。

申込み: 電話かファクスで公園事務所まで

★ 初心者茶道体験教室の講師募集

毎月第3土曜日に実施している教室の講師(無償ボランティア)募集です。

期間は今年末から約2年間。授業料、講師料は無料ですが実費は徴収します。

7月12日(木) 10時から古民家主屋で説明会を開きます。

希望者は7月5日(木)までにはがきか電話で公園事務所まで。

★ 公園ボランティアに参加しませんか

ふじやま公園では年間行事の企画実施、農園や竹炭焼きの自然の中での作業、古民家主屋内の飾りつけなど色々な活動があります。

自分の趣味や時間に合わせて参加しませんか。

お問合せや参加申し込みは電話や、直接事務所窓口へどうぞ。

★ 5月ふじやま公園来園者数 5月度来園者数 2,307名 30年度累計 4,449名

- | | |
|------------|-----------------------------|
| ・開 館 時 間 : | 9時～17時 |
| ・入 館 料 : | 無 料 |
| ・休 館 日 : | 毎月第1水曜日(7月4日) |
| ・クリーンアップ : | 毎月第1・3火曜日 10時～11時(7月3日・17日) |

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL : 045-896-0590

FAX : 045-896-0593